



SACRED GEOMETRY

神聖幾何学

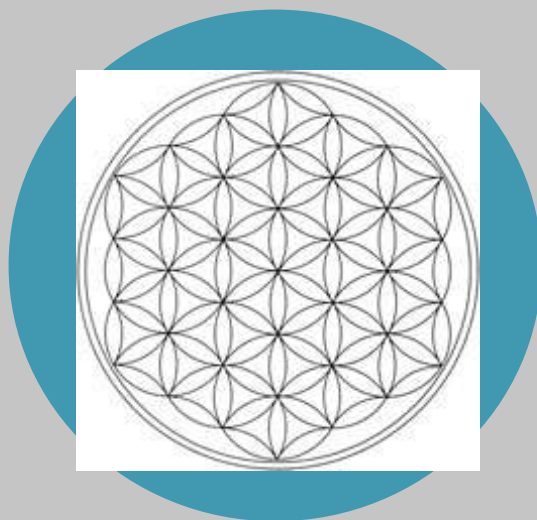
Creation's Divine Expression
創造の神聖なる表現

Topics of Study – Section One

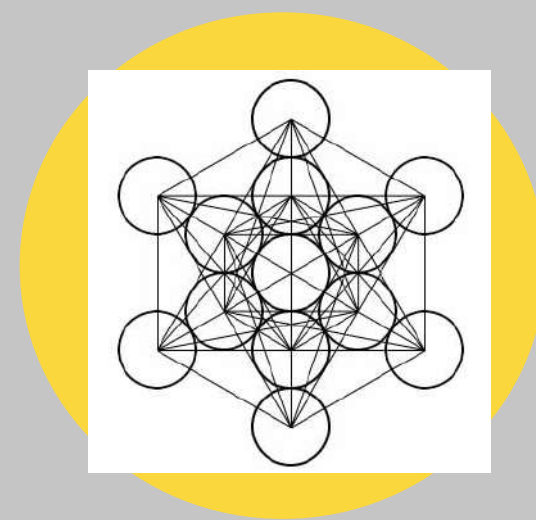
研究テーマ - セクション1



存在するすべてのものは、幾何学および数学的な比例だけでなく、形而上学および神秘的な比例関係があります。



意識とエネルギーが物質の感覚意識に広がっていく中で、フラクタルからユニバーサルマインドの神聖な表現に至るまで、です。



神聖な空間の創造：自然との深いつながりは、呼吸が私たちの命に欠かせないものであるのと同様に、私たちの世界の幸福（WELL-BEING）に最も重要なものです。

Porportionality

比例

- ・ 比例関係とは、2つの変数の比率が等しい関係です。比例関係を別の見方で考えると、比例関係では、一方の変数は、常に一定値を他方の変数に掛けているということです。この定数は「比例定数」として知られています。
- ・ 2つの変数は、一方の変化が、他方の変化から予測できる場合に比例関係であると言います。中学校の化学に関連する比例関係には、比例と反比例の2つがあります。
- ・ 物理学-数学において、2つの変数(xとy)の比(y/x)が定数 k に等しい場合($k=y/x$)、比の分子の変数 y は、変数 x と定数の積($y=k \cdot x$)になります。この場合、比例定数 k で、y はx に正比例すると言います。
- ・ 形而上学・神秘主義では、経験主義と虚無主義の交点、つまり存在論的な形而上学にたどりつきます。これは、あらゆる感情、思考、行動に、本質的な比例が関わり、実際に、潜在的に、実質的に、偶然に、単純に、複合的に、永遠に、または一時的になど、どのような形であれ、存在しているもの (is) をなり得るもの (to be) にしています。

Spiritual Proportionality

スピリチュアル的比例

・現代、あるいはニューエイジでは、スピリチュアルの研究は神秘主義と形而上学のつながりを断つような傾向があります。ノウイング・ウェイでは、似通った見解を含む一つの真実、つまり「在りて在るものすべて—All That ISは創造主のマインドであり、それ以外は存在しない」という考えをもとに、異なる存在論から、論理的に神秘主義の多様な主張を生み出し、関連づけていきます。このアプローチをとおして、ノウイング・ウェイの神秘神学は、神秘学と融合した形而上学を提供します。神秘神学によれば、存在における物事の優美さと恩恵は、ユニバーサルマインド、先祖や創造主とどの程度協働しているかに対応しています。ノウイング・ウェイの形而上学的な立場は、宗教的経験の解釈と範囲を明確にすることです。

・第一に、形而上学と神秘主義の接点を考察します。第二に、形而上学と神秘主義の間で交差する主張のポイントとして、一元論と多元論の形而上学的問題を取り上げます。第三に、神秘神学との関連性を含めながら、ノウイング・ウェイの形而上学において「一と多」の問題の文脈、定式化および解決策を検討します。第四に、知性の領域の形而上学的パラドックスを検証して、それがノウイング・ウェイの実践者の「神秘体験への入り口」にいかにか立ちはだかっているのかを伝えます。

Fractals – Particles of Universal Mind

フラクタル – ユニバーサルマインドの粒子

- ・物理学では、フラクタルは終わりなきパターンです。フラクタルは無限に複雑なパターンであり、異なる大きさでも自己相似的です。フラクタルは、進行中のフィードバック・ループのなかで、単純なプロセスを何度も繰り返すことでつくられます。フラクタルを使って定義したり、予測できる自然現象はたくさんあります。
- ・六角形は、自然界で最も一般的な形の1つです。ハチの巣から雪の結晶、果物の皮に見られるパターンまで、六角形はいたるところに存在します。それは、アカシックレコードから意識的にデータを取得しているときに通る入口のポータルも含みます。
- ・形而上学では、フラクタルは、集合意識とあらゆる感覚をもつ生命体の個々のマインドの中で繰り返されるパターンとして存在しています。人間の意識は、集合意識を達成するために協働する個々の自己表現内の連続した、微小の感情、思考、行動の増幅された表現です。

Repeating Patterns – Mind Ritual

繰り返されるパターン—マインドの儀式

幼児から高齢者まで、個々人の基本的な感情は、それぞれの部分が集合体全体と同じ本質的な特徴を持つフラクタルです。集合的なフラクタル感情は、似たようなパターンが徐々に小さな連想で繰り返され、個々の感情／思考／言動として表現されますが、これは銀河の形成の背後にある力と同じ規模の反応です。

私たちのマインドは、フラクタル化された繰り返しのパターンを使って、個性化を続けます。儀式化された感情や思考のプロセスは、最終的な覚醒を確実にするためのパターンとして構築され、使われます。個人が儀式化された感情や思考をリリースするとき、それらは流動的な状態へと移行して、人は集団から解放されるのです。

一般の精神的な儀式

汚染：

- 体液（例：尿、便）
- 細菌・病気（例：ヘルペス、HIV）
- 環境汚染物質（例：アスベスト、放射線）
- 家庭用化学品（例：洗剤、溶剤）
- ごみ、ほこり

コントロールを失うこと：

- 自分を傷つけたい衝動に駆られて行動することへの恐れ
- 他人を傷つけたいという衝動で行動することへの恐れ
- 心の中の暴力的、または恐ろしいイメージへの恐れ
- 卑猥な言葉や侮辱を口にする事への恐れ
- 物を盗むことへの恐れ

Repeating Patterns – Mind Ritual

一般的な精神的な儀式

危害を加えること：

- 何か恐ろしいことが起こった時の責任を負うことへの恐れ
(例：火事、強盗など)
- 十分な注意が足らず人を傷つけることへの恐れ
(例：誰かが滑って怪我をすることがあるかもしれないものを落とす)

完璧主義：

- 均一性や正確さが気になる
- 知っておく、または覚えておく必要があるかどうか気になる
- 捨てるときに重要な情報を失うことや忘れてしまうことへの恐れ
- 残すか捨てるかの判断がつかない
- 失うものへの恐れ

望まない性的思考：

- 禁じられた、または屈折した性的思考やイメージ
- 他人に対する禁断の、または屈折した性的衝動
- 同性愛への執着
- 子供や近親相姦を伴う性への強迫観念
- 他人に対する攻撃的な性行動に対する強迫観念

宗教的な強迫観念（几帳面さ、入念さ）：

- 神を怒らせることへの懸念、または神を冒瀆することへの懸念
- 善悪や道徳への過剰な関心

Repeating Patterns – Mind Ritual

一般的な精神的な儀式

その他の強迫的観念：

- 身体的な病気にかかることへの懸念
(汚染によるものではない、例えば、癌など)
- ラッキー・アンラッキーナンバー、特定の色についての迷信的な考え

繰り返し：

- 再読・書き直し
- 日常的な動作の繰り返し
(例：出入り、椅子からの立ち上がる・座る)
- 体の動きを繰り返す (例：叩く、触る、まばたきなど)
- 倍数で活動を繰り返す
(例：3は「良い」「正しい」「安全」な数なので、3回タスクを行う)

精神的な強迫的行為：

- 危害を防ぐために (自分や他の人に、恐ろしい結果を防ぐために) 精神的に出来事を見直す。
- 危害を防ぐために (自分や他の人に、恐ろしい結果を防ぐために) 祈る。
- 「良い」「正しい」「安全な」数字で終わるようにタスクを実行しながら数を数える。
- 「取り消し」または「元に戻す」 (例：「悪い」単語を「良い」単語に置き換えてキャンセルする)

他の強迫的行為：

- 家が非常に散らかるようなアイテムを収集する (また、買いだめと呼ばれる)
- 物事を整頓したり、"しっくりくるまで"整理したりすること
- 伝える、尋ねる、告白して安心を得る

Common Mental Rituals

一般的な精神的な儀式

精神的な儀式とは、恐れている結果を防ぐために、あるいは永遠の影響を引き起こす不安を軽減するために、そのいつまでも続く影響に反応して頭の中で何かをし続けるという強迫観念のことです。

例：

強い宗教的信念を持っている人は、自分が宗教の教えや導きに反するような考えを持っていると、子供たちが病気になってしまうのではないかと心配になるかもしれません。無宗教的な考えやイメージが頭に浮かんだときは、それに反応して子供たちを守ってくださいという願いとともに、暗記している偉大なる神への祈りを何度も繰り返し唱えます。

心理学では、精神的な安心を求めることは、臨床的に強迫観念に分類されます。この状態は、自分が出した結論のパターンを繰り返していることに対して、正しくあろうとしているのです。精神的な儀式は、不安を軽減するために脳内の化学物質を変化させる手段です。

私たちの感情、思考、言葉、行動パターンは、何も儀式化されていない精神的な状態にさらされていなければなりません。精神的な儀式を解放するための最初のステップは、パターンを繰り返すおなじみのサイクルに気づくことです。精神的な儀式から得られる一時的な安心では、未解決の、あるいは想像した恐ろしい状態や状況を、自分で考えて効果的に切り抜けることはできません。

精神的儀式が何のためにあるのかが分かると「安心の必要性」を解放するプロセスを始めることができます。

Repeating Universal Structures

普遍的構造の繰り返し

はじまりの瞬間に意識とエネルギーを解放した力は、存在するすべての粒子が創造全体の青写真を運ぶことを可能にしました。創造がはじまりの瞬間から進化を続けるにつれて、それぞれの創造の断片は、すべての物質の最小のものに至るまで、常に新しく形成されたデータに更新されます。この更新され続けるデータこそ、「すべて」である存在の表現そのものです。

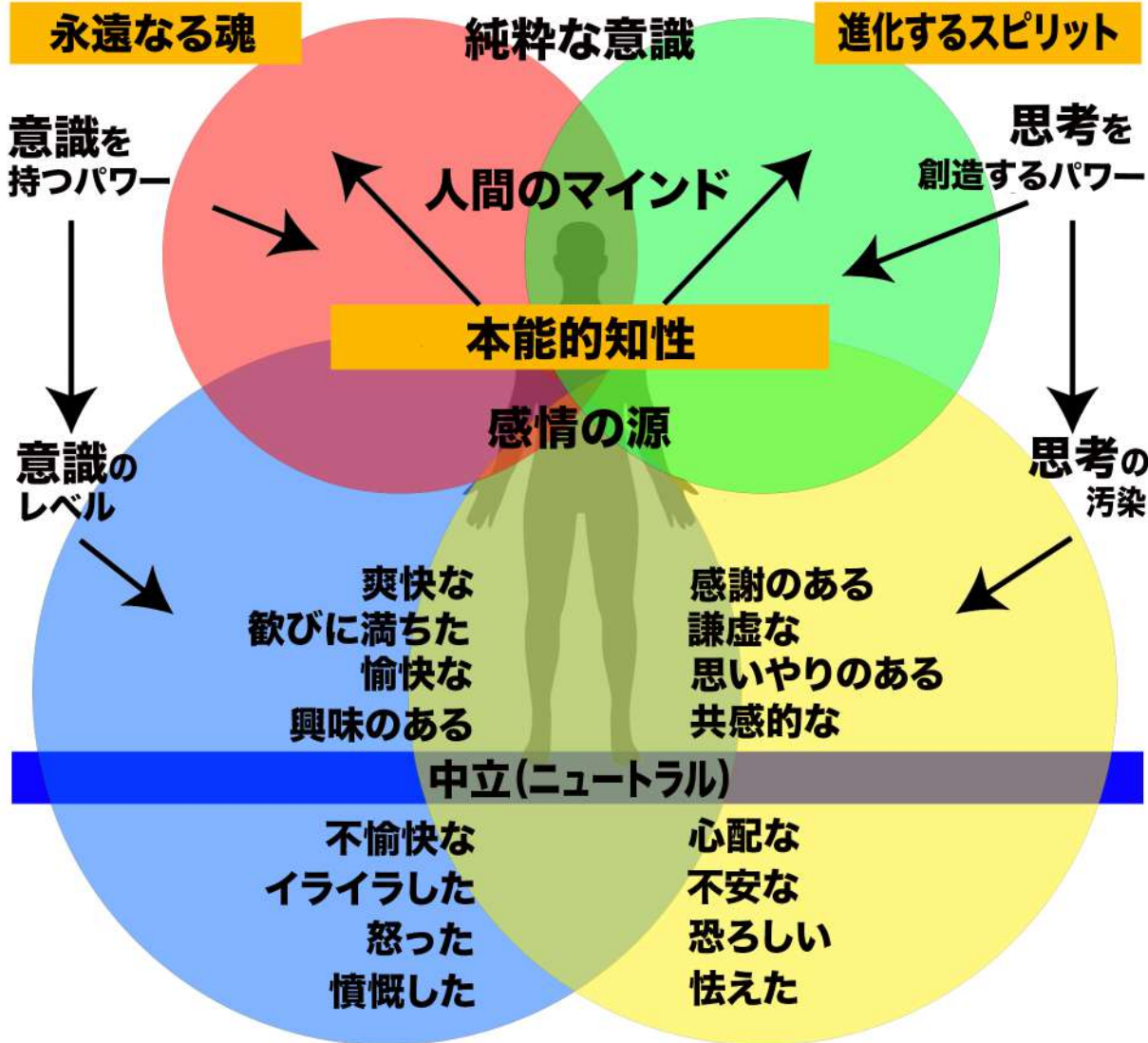
比例して、この宇宙全体が、創造主のマインドのホログラフィックな表現となっています。私たち一人一人の中には、「大いなるものすべて」である創造主のヴィジョンが展開していく物語があります。

自分のマインドの中の境界線を取り除いた時、私たちは自分自身がそのヴィジョンそのものであることを知るのでした。

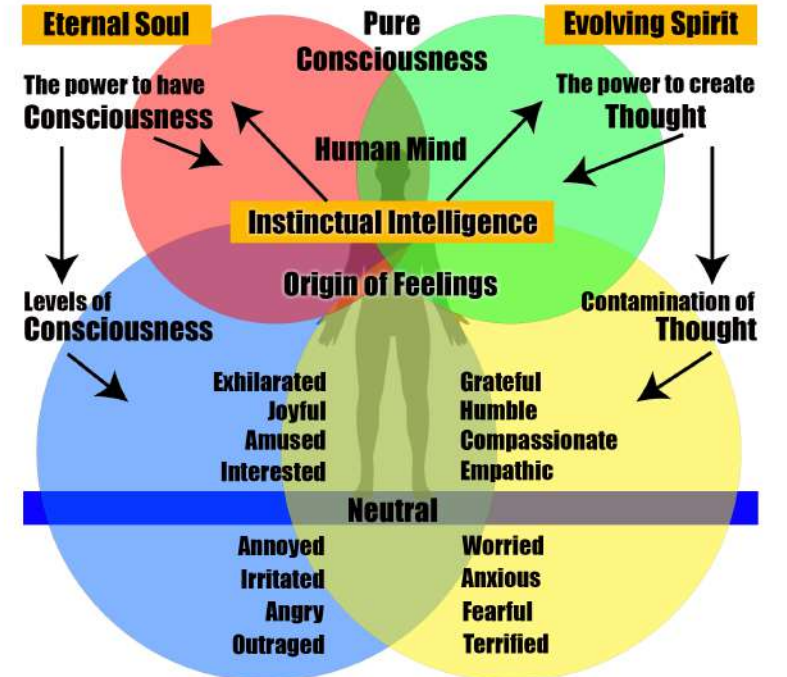


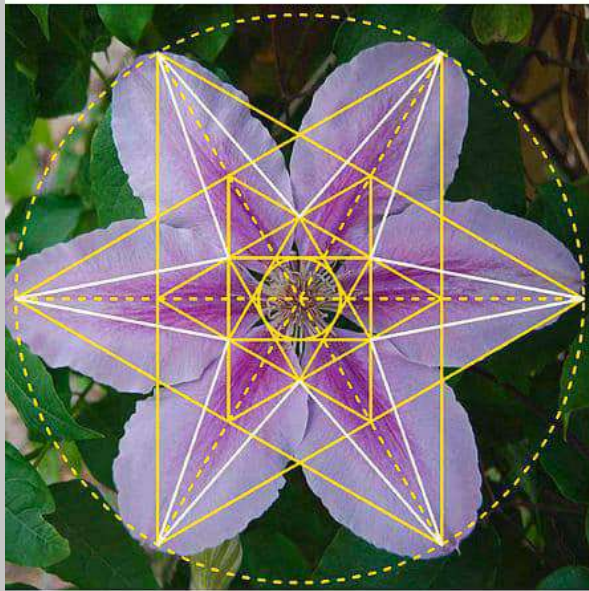
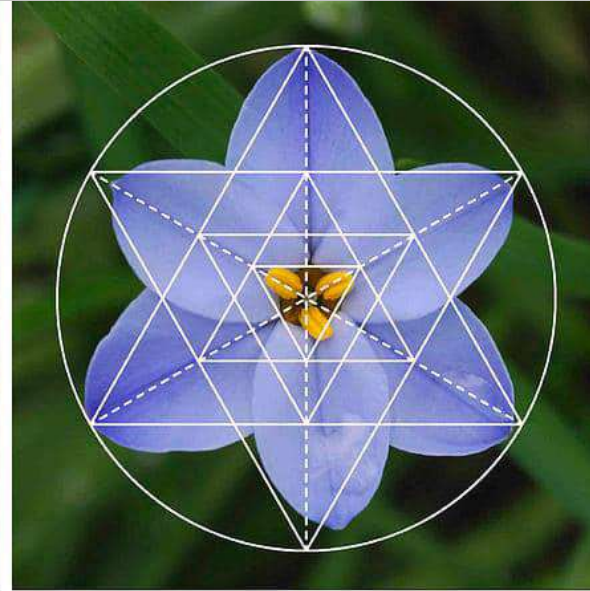
ユニバーサルマインド

非物質的エネルギー - 生命力を生み出す
無限の知性 - ワンネス



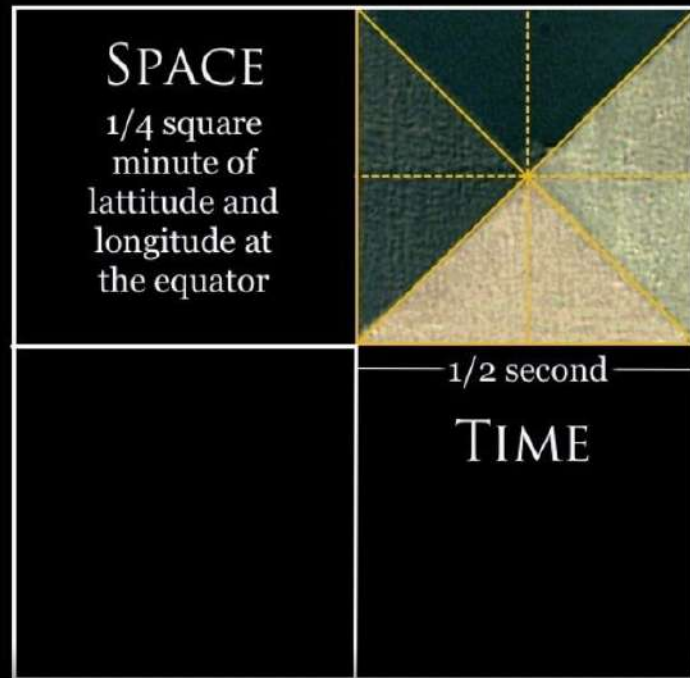
UNIVERSAL MIND Non-matter Energy - Originating Life Force Infinite Intelligence - Oneness





大ピラミッドは、時間と空間に関する地球の43,200分の1のモデル

THE GREAT PYRAMID IS A 1:43,200 SCALE MODEL OF EARTH IN SPACE AND TIME



The distance the Earth spins at the equator in two seconds is equal to the perimeter of the Great Pyramid of Giza. Since there are 86,400 seconds in a day, two seconds is 1/43,200th of a day. Multiplying the height of the Great Pyramid by 43,200 equals the polar radius of Earth. Multiplying the perimeter of the Great Pyramid by 43,000 equals the equatorial circumference of Earth.

The Great Pyramid is a 1:43,200 scale model of the northern hemisphere of Earth and represents a 1:43,200 ratio of time in a day.

The Great Pyramid of Giza is a 1:43,200 representation of Earth

CREDIT: RANDALL CARLSON - SGI

VΘΣDUBS

地球が赤道部分で2秒間回転する距離は、ギザの大ピラミッドの周囲に等しくなります。1日は86,400秒なので、2秒は1日の43,200分の1です。

大ピラミッドの高さに43,200を掛けると、地球の極からの半径に等しくなります。大ピラミッドの周囲の長さに43,000を掛けると、赤道の円周に等しくなります。

大ピラミッドは、北半球の1:43,200スケールモデルであり、1日の時間を1:43,200の比率で表しているのです。

Space 空間

1/4 square minute of latitude and longitude at the equator
赤道における経度と緯度の4分の1平方分

Time 時間

1/2 second
2分の1秒



①から⑧までを繰り返す:「吸う」と「吐く」は均等に

